

GINZA 2020 NEWS LETTER

10
2017.12.6

「全銀座会 G2020 (GINZA2020)」は、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けて全銀座会内の各構成組織や各委員会に関わる横断的な組織として2014年に発足した全銀座会の一委員会です。

2020年を契機として、銀座の価値をよりいっそう向上させ、唯一無二の街である『銀座』というブランドロイヤリティを確立し、長期的に街のブランド力を維持することを目的としています。その一方、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催に向けて、銀座に対する外部からの様々な提案や情報提供の窓口となるとともに、全銀座会及び内部組織への情報発信、情報共有、アレンジなどを行っています。

【GINZA 2020 | 活動状況報告】

● 文化プログラムに向けてのレクチャーシリーズ

2020年の気運醸成とそれ以降も銀座の魅力も高めていく文化プログラムを考えるべく、7月からレクチャーシリーズをはじめました。銀座は、文化的資源が商業を支える街です。銀座の文化や文化に関わる人々を街が育てることで、銀座の長期的なブランド力の向上を目指します。レクチャーシリーズでは、①銀座における「文化プログラム」を自ら立案し、実行していくための基礎となる知見を得る、②国内外の様々な実践を実際に進めてきたディレクター、プロデューサー、事務局メンバーなどから現場の生の声を聴き、銀座が何をすべきかを考える、③アーティストやプロデューサーたちと出会い、ネットワークを築くことを目標としています。このレクチャーシリーズを通じて、斬新かつ持続可能な文化プログラムの実現を目指していきます。

2017.7～11に実施したレクチャーシリーズ

No.	テーマ	事例	講師
1	《文化プログラム》	ロンドンの事例 東京/日本の取り組み	吉本光宏 (ニッセイ基礎研究所)
2	《都市の官能、寛容、余白》	「官能都市」「寛容社会」「場所と物語」	島原万丈 (LIFULL Home's 総研) 石神夏希 (ペピン結構設計)
3	《インバウンドの先》	「OPEN TOKYO」	伏谷博之 (タイムアウト東京)
4	《新しい文化を創造する街・銀座》	「芸能、食文化、美術、映画の街・銀座」	太下義之 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング)
5	《街とアート》	「さいたまトリエンナーレ他」	芹沢高志 (P3 art and environment)

● Ginza Progressive (公共空間の活用企画)

銀座の限られた公共空間を活用し、銀座の生き生きとした空間を肌で感じ、楽しんでいただきたいこと、それから、銀座の懐の深さ、多様性を発信したいことから、『GINZA Progressive』と題したイベントを実施しました。2019年にラグビーワールドカップ、また2020年にはオリンピック・パラリンピック東京大会が開催され、世界の注目も集まるこの機会に、モノとコトがクリエイティブされる銀座ならではの「場の力」を高めていくべく、今後も継続的な実施をめざしています。

実施日：第1弾 2017年9月30日・10月1日 / 第2弾 2017年11月11日・12日

場所：数寄屋橋公園、協力店舗

内容：音楽ライブ、パフォーマンス、トークショー、マーケットなど

● ラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピックへ向けての取り組み

今後、全銀座会会員向けにラグビーやパラスポーツのルール勉強会を実施し、試合の応援ツアーを企画検討中。大会開催期間中の街としてのおもてなし（選手や関係者向け。また国内外の観光客向け）を企画検討中。

● その他、以下のことも行っています。

関係部署とのパイプ作り、銀座にまつわるキーパーソンへのヒアリング、ユニバーサルマナー検定の実施、訪日外国人向けのガイドブック制作、勉強会の実施と各種サービスなどの提案の受付、委員会・連絡協議会の実施、等。

【発行】 全銀座会 G2020 事務局 TEL & FAX : 03-3561-0960 / E-MAIL : g2020@ginza.jp
〒104-0061 東京都中央区銀座4-6-1 三和ビル3F

● メール配信をご希望の方はお知らせください ● この NewsLetter は、全銀座会会員、銀座街づくり会議関係者の方々にお送りしています ● 本誌の内容を、許可なく無断で複写・複製および転用・転載することを禁じます ●